

国際交流委員会
活動報告

令和元年度韓国漢陽大学校薬学大学との国際交流

李 辰竜・山本清司

薬学部国際交流委員会

本学薬学部では、視野の広い未来を開拓する医療薬学専門人の育成の一環として、国際交流協定校を中心に学生の派遣と受け入れを行い、国際交流事業を推進している。その一環として、韓国については平成25年度より協定校2校（漢陽大学校薬学大学および東国大学校薬学大学）への薬学研修ならびにこれら2校からの学生の受け入れを行っている。

本報告では、漢陽大学校薬学大学を中心に企画した令和元年度の韓国薬学研修について下記に報告する。



1. 概要

令和元年8月7日（水）から8月10日（土）まで、本学学術交流協定校である漢陽大学校薬学大学を中心とした第6回韓国薬学研修を実施した。本研修には、4年次生4名および3年次生5名の計9名の本学薬学部生が参加した。ソウル大学病院医学博物館、漢陽大学病院、漢陽大学薬学部、地域薬局3店を見学し、韓国における薬学教育・研究や薬剤師の活動について学んだ。そして、漢陽大学校薬学大学教員および学部生との懇談・懇親会

を通して親睦を深めた。また、韓方市場や韓方博物館の見学やソウル市内の散策を通して異文化体験を行った。



2. 参加者

3～5年次生を対象として募集し、選考の結果、下記9名の薬学部学生が参加した。また、下記3名の教員が同行した。

参加学生

学年	氏名
4	上田梨奈
4	田川佳於里
4	竹下茅咲
4	千葉有紀子
3	植家晴紀
3	國府方梨菜
3	林 明日香
3	吉田弥礼
3	渡邊紗里

引率・参加教員

衛生薬学講座	李 辰竜	准教授
臨床薬物動態学講座	山本清司	講師
地域医療薬局学講座	土田大輔	特任講師

3. 研修日程とスケジュール

表1に本研修のスケジュールを示した。1日目は日本を出発しソウルに到着後、ソウル大学病院医学博物館を訪れた。2日目はソウル市内の韓方市場と韓方博物館を見学し、韓国文化を体験した。3

日目は漢陽大学病院薬剤部の見学、漢陽大学薬学部の研究室ツアー、地域薬局3店の見学を行った。4日目は主に移動日であり、ソウルを出発し日本へ帰国した。

表1. 漢陽大学校薬学大学 訪問スケジュール

日時	スケジュール	場所	
8月7日(水)	9:25	中部国際空港発	
	11:25	ソウル着	仁川国際空港
	12:00	ホテル着	ホテルスカイパーク明洞2
	15:00	ソウル大医学博物館	ソウル鍾路区
	18:30	打合せ・夕食	明洞周辺
8月8日(木)	9:00	移動	
	9:30	韓方市場・韓方博物館	ソウル東大門区
	12:30	移動	
	13:30	韓国文化体験	仁寺洞・北村
	18:00	夕食	ホテル周辺
8月9日(金)	9:00	移動	
	10:00	漢陽大学病院薬剤部見学	ソウル城東区
	12:00	昼食	
	13:30	移動	
	15:00	漢陽大学薬学部見学 薬学部見学 地域薬局見学	京畿道安山市
	18:00	懇親会	
8月10日(土)	10:00	反省会・報告打ち合わせ	ホテル周辺
	12:00	自由時間	
	16:00	仁川空港へ移動	
	19:05	仁川出発	仁川国際空港
	20:55	中部国際空港着、現地解散	

4. 研修風景



5. 所感

参加した学生たちは皆、終始積極的に質問したり自ら調べたりしながら真摯に学んでいた。本研修を通して学生たちは、韓国における薬学教育・薬学研究、臨床現場での薬剤師の役割、医療事情などについて学び、日本との違いについて考えることで、国際感覚を養う貴重な機会となったと考えられる。学生が今回の経験を、今後の勉学、ひいては卒後の業務に活かすことが期待される。

また、漢陽大学薬学部との学生や教員と交流を深めることができた。今後も本学と漢陽大学の良好な関係が続き、国際交流が益々発展することを祈念する次第である。

本報告の終わりにあたり、国際交流にご協力とご支援を頂いた漢陽大学校薬学大学ならびに本学関係各位に心より感謝申し上げます。